

教科	資質・能力	現在の児童・生徒の実態や授業についての分析	授業改善のための具体的な方策
国語	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの児童がひらがなは定着したが、片仮名の定着に課題がある。また、促音、長音、拗音、助詞などの言葉の使い方に誤りがある児童が多い。</li> <li>語彙の差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市や都のベーシックドリルなどを活用しながら、家庭学習と個別支援を並行して取り組んでいく。</li> <li>促音や長音については、体の動きを取り入れながら繰り返し指導していく。</li> <li>ことば集めを繰り返し、様々な表現方法に触れていく。</li> <li>読書の時間を積極的に確保していく。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>友だちや担任に自分の体験などを話すことが好きな児童が多い。一方で、最後まで聞く、内容を落とさずに聞くなどの力は、不足している。</li> <li>読むことに関する考えの形成が見えづらいところがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>確認のため、話したことを児童に聞く際には、ナンバリングをし、キーワードを押さえ、内容を正確に聞きとっているかを確認していく。</li> <li>一人一人が確実に感想を持ちながら文章を読むよう、大切な語句をしっかり押さえて確かな読みの指導を行う。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>読み聞かせを楽しみ、読書に親しむ児童が多い。</li> <li>物語文などでは、登場人物の気持ちに入り込み、楽しんで学習に取り組める児童が多い。</li> <li>自分の考えを意欲的に発表する児童と、そうでない児童の差が出始めてきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校司書や市の図書館と連携し、読書環境を充実させていく。単元のねらいに応じた並行読書を積極的に位置づける。</li> <li>自分の言葉で楽しみながら発表したり書いたりする経験を重ね、互いに交流する学習活動を取り入れることで、学ぶ目的意識を持たせていく。</li> </ul>
算数	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>指やブロックを用いて計算を行う児童もいるが、繰り上がりや繰り下がりのない計算は、概ねできるようになってきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業及び朝学習の時間にプリントや計算カードを使い、繰り返し習熟させる時間を確保する。</li> <li>日々の宿題で復習させ、定着を図る。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章題の意味を理解し、正確に式を立てることができるようになってきた。</li> <li>場面や式に合わせた文章題を作ることができない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵や図を用い、文章題の意味や場面を具体的にイメージさせ、自分で考える時間を設ける。</li> <li>友達が考えた問題を、互いに解き合う学習経験を積ませる。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>算数の学習を楽しみにし、進んで問題に取り組もうとする児童が多い。</li> <li>一度思考が途切れると、集中して課題に取り組めない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>算数の学習に対する達成感が感じられるよう、スモールステップの学習過程を組む。</li> <li>友達との交流の時間を設定することで、考えをもつことの楽しさに気付ける指導を行っていく。</li> </ul>
生活	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の生活や体験をもとに調べ学習を行い、似ている所や違いに気付いた結果、興味関心の幅が広がってきた児童が増えていた。</li> <li>入学前の経験の差や、手先の器用さに個人差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真絵本や図鑑から得た知識を共有できるように、年間を通し、学校司書や市の図書館と連携し、学習環境を整える。</li> <li>指先を使った活動を意図的に取り入れる。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>体験をもとに、自分なりに考えたり工夫したりすることを表現する力は、まだあまり育っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手意識をもった活動や目的意識をもたせた活動を計画し、自分なりに気付いたことを書いたり発表したり交流し合う場を設ける。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な人や自然と関わりながら、意欲をもって積極的に活動する児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続的に育て関わる活動を取り入れることで、身の回りの自然や人を大切に、そこから得た気付きを次の学びに活かせるよう、価値付けていく。</li> </ul>
	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>初めての曲も楽しんで歌う児童が多い。</li> <li>鍵盤ハーモニカの練習も意欲的に取り組む児童が多いが、音の長さが正しくとれなかったり、タンギングがうまくいかなかったりと、苦手意識をもつ児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>季節や行事の歌を取り入れ、毎時間楽しんで歌えるようにしていく。</li> <li>個別指導を充実させ、少しずつでも積み上げていけるようにする。</li> </ul>

音楽	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学前(幼稚園や保育園、様々な家庭環境など)の音楽に触れる機会に、個人差がある。</li> <li>・表現力の個人差も大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な機会を通して、色々な楽曲や歌い方、楽器に触れる機会を作っていく。</li> <li>・全身を使った身体表現の機会を設ける。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌いながら体全体で表現するなど、楽しんで活動している。</li> <li>・鍵盤ハーモニカなどは個人差があり、演奏に消極的な児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鍵盤ハーモニカの演奏だけでなく、身近な楽器を取り入れ、苦手意識をできるだけ減らし、楽しんで音楽活動ができるようにする。</li> </ul>
図画工作	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園や保育園での経験、家庭環境によって、技能面で個人差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技能の活動を単発にせず、繰り返すことにより、確実に習得させる。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で思いついたり、想像したりすることに苦手意識をもつ児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素材とよく関わり、試行錯誤しながら手を動かすことでイメージを膨らませ、制作する時間を多くとる。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・造形遊びを含め、意欲的に活動に取り組もうとする児童が多い。</li> <li>・1つの作品が完成するまで、じっくりと取り組めない児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が意欲をもつ題材を扱い、想いが膨らむような言葉掛けをする。</li> <li>・制作の途中も含め、互いの作品の良さを感じとり、伝え合う機会を設ける。</li> </ul>
体育	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かけっこやなわとびなどで基本的な運動遊びができるようになってきた。</li> <li>・運動のイメージがもてず、自分の体を上手に操作することができない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体のイメージや運動の感覚を育てるために、様々な体の動きを経験させる。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で運動を工夫したり、自分に合った運動遊びの場を選んだりする経験が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工夫した動きをしている児童を称賛し、互いのよさを伝え合う場を設ける。</li> <li>・自分の力に合った場を選べるよう、実態に合わせた場の設定をする。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体を動かすことが好きな児童が多い。</li> <li>・準備や片付けを協力して行う姿が見られる。</li> <li>・決まりを守り、安全に気を付けて活動しようとする児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の興味を高める活動の場を工夫する。</li> <li>・授業規律や用具の準備、片付けの方法や必要性を繰り返し指導する。</li> <li>・安全指導を継続して行う。</li> </ul>
学活	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見を言うことができる児童と、全く意見を言えず聞き手になってしまっている児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体で意見を言えない児童も安心して意見を言えるよう、ペアやグループでの話し合い→全体での話し合いというように段階をつくって話し合い活動の経験を積むようにさせる。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・係活動や当番活動では、自分の仕事を責任をもって取り組める児童が増えてきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員が係や当番の仕事をもち、クラスみんなが楽しく生活できるように考え、行動する機会を設ける。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のことだけでなく、友達のことを意識して生活できる力が育ってきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな友達と協力する力を育てるために、ソーシャルディスタンスを保ちながら、様々なグループ活動に取り組ませる。</li> </ul>
道徳	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳的な価値の理解が弱い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「今日は”みんなであつかうばしょのつかいかた”について考えよう。」など、何について考える一時間なのか、授業のテーマを冒頭で提示し、見通しを持ってから授業を展開する。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳的価値を自分に置き換えて具体的に考えることが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動作化や役割演技、吹き出しへの書き込みを通して読み物教材の登場人物になりきる活動を取り入れる。</li> </ul>

学びに向かう力、人間性

・自分の今後の在り方につなげて考えることが難しい。

・教師や友達と経験談を交流し合うことで、色々な見方や考え方に触れ、自分の考えを持ったり見直したりする時間を確実に設定する。

東村山市立化成小学校 第2学年

教科	資質・能力	現在の児童・生徒の実態や授業についての分析	授業改善のための具体的な方策
国語	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字を正しく書く力に差があり、文章の中で使うことができない児童が多い。</li> <li>助詞、促音、拗音、句読点など正しく使えない児童がいる。</li> <li>語彙が少ない児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝学習や宿題など、繰り返し学習で基礎基本としての漢字の定着を図る。また、日記や作文など書く機会を増やし、書き慣れていくようにする。</li> <li>本を読み、調べて分かったことを新聞にまとめることができるようにする。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の体験などを全体で話すことが好きな児童が多い。しかし、最後まで話を聞き、内容を落とさずに聞く力は不足している。</li> <li>感染症予防のため、グループなどの少人数での発表が十分にできないことが多い。全体で発表を行う。</li> <li>小グループで行う音読発表会では、登場人物の気持ちになりきり音読できる児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し手を見ること、分かった時には頷く、ハンドサインを活用するなどの習慣を身に付けさせる。</li> <li>グループでの発表は、互いの距離をとり、広い部屋で行ったり、全体の発表では、テレビに映すなどの工夫をする。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>読み聞かせを集中して聞き、話の世界に入り込んでいる児童が多い。</li> <li>読書を進んで行う児童が多く、図書の時間を楽しみにしている。</li> <li>物語文では、登場人物の気持ちになりきり、楽しんで学習に取り組める児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書の時間や朝学習の時間を活用し、読書の質と量を増やせる機会を設ける。</li> <li>感染症予防のため、図書の時間の読み聞かせは教室の自分の机で聞くようにする。</li> <li>自分の言葉で楽しみながら発表したり書いたりする学習活動を、継続して取り入れる。</li> </ul>
算数	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しいことを学習しようとする意欲は高く、興味関心をもって算数の学習に取り組むことができる児童が多い。</li> <li>学習の定着に時間がかかる児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業や日々の宿題でプリントやドリルを使い、繰り返し習熟させる時間を確保する。</li> <li>通年を通して振り返りしながら、既習事項を思い出して自力解決できるようにする。</li> <li>具体物等を操作しながら学習の理解を深められるようにする。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを順序立てて説明できる児童もいるが、考えを整理して伝えることができる児童は少ない。</li> <li>既習事項を生かして問題を解くために、図や式を使うことが少なくなってきた。</li> <li>ノートに自分の考えをまとめることができるようになってきたが、個人差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業時間の中に自力解決の時間を確保することで、自分で考えたことをまとめる習慣を身に付けられるようにする。</li> <li>ノートの書き方、まとめ方を指導する。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>進んで自分の考えを発表しようとする意欲的な児童が多い。</li> <li>向上心をもって学習に取り組んでいる反面、分からないとそこから進めなく止まってしまう児童もいる。</li> <li>集中力が続かない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どんな答えや考えでも受け入れ、安心して発言したり発表したりできる場の雰囲気を作る。</li> <li>算数の学習に対する達成感が感じられるよう、スモールステップの学習過程を組む。</li> <li>45分間の授業の組み立てを工夫し、児童が飽きないような展開を作る。</li> </ul>
生活	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な自然や社会との関わりには、興味関心が高く、よさや素晴らしさに気付くことができる。</li> <li>集団や社会の一員としての適切な知識や行動には、個人差がある。</li> <li>気付いたことを、観察カードに絵や文章で分かりやすくまとめることができる児童が増えてきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>植物や生き物観察を季節ごとに設定することで、変化の様子をより実感させ、愛着をもって自然を大切にできる行動を身に付けさせる。</li> <li>写真絵本や図鑑から得た知識を共有できるよう、年間を通し、学校司書や市の図書館と連携し、学習環境を整える。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>1学年との交流学習「おもちゃランド」や季節の遊びなどでは、自分なりに考え、より楽しい活動になるよう工夫できる。</li> <li>調べたり体験したりすることは好きだが、自分との関わりへの気付きや、活動のよさへの気付きが少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症予防に留意し、「町たんけん」ではグループごとに役割を決め、相談したり決定したりする経験を積ませる。その中で自分自身のつながりや町のよさに目を向けさせる。</li> <li>調べてきたことを1年生に発表する学習活動を取り入れることで、相手意識をもってまとめ発信する力を育てる。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分自身の成長や身近な人の支えに気付き、意欲をもって振り返る活動を楽しむことができる。</li> <li>体験したことや楽しかったことから自分自身を見つめ、自分のよさの気付きまでには至っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「自分ものがたり」では、自分の成長過程や生活を振り返りながら、自分自身を見つめ、自分の可能性や良さに気付き、自信をもって今後の生活を築く土台作りとなる学習活動を取り入れる。</li> </ul>
音楽	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>初めての曲にもリズムや曲想を感じながら歌を楽しむ児童が多い。</li> <li>リズムを歌唱や手拍子で楽しむことのできる児童が多いが、正しいリズムを打つことが難しい児童もいる。</li> <li>鍵盤ハーモニカは感染症予防のため指使いのみ練習する期間が長かったため、習得には個人差が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音符、休符、記号や用語について理解させ、音楽における基礎的な技能を身に付けさせる。</li> <li>鍵盤ハーモニカの指使いを繰り返し練習し、暗名で歌ったり指番号で歌ったりした後に演奏し、楽器の基本的な演奏方法を身に付けさせる。</li> <li>歌唱の指導は、マスクをつけながら行う。</li> <li>手拍子等でリズムを感じ取るよう活動を行う。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>曲想を感じ取って、進んで体や言葉で表現しようとする児童が多いが、表現力の個人差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>演奏の仕方や音の強弱などによる感じ方の違いや、歌詞から感じられる様子など、話し合ったことをワークシートにまとめ、工夫して表現できるようにする。</li> <li>全身を使った身体表現の機会を設ける。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽しく音楽活動をする児童が多く、身の回りの音楽に進んで親しもうとする意欲が高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音遊びや即興的な表現など、自ら創造する活動を取り入れ、楽しく学習できるようにする。</li> <li>身近な楽器を取り入れ、楽しんで音楽活動ができるようにする。</li> </ul>
	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>はさみ、のり、パス、絵の具などの基本的な扱い方は分かっている。</li> <li>完成までの制作過程を理解し、取り組む児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>テープや筆、カッターナイフ、ステープラー等造形活動に必要な道具の使い方を紹介し、自分の思いに合った表現方法や材料、道具を選べるようにする。</li> </ul>

図画 工作	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感じたことや材料などを基に、表したいことを思いついたりつくり方を考えたりする力が育ってきた。</li> <li>・自分のイメージを形に表すことに苦手意識をもつ児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素材とよく関わり、試行錯誤しながら手を動かすことでイメージを膨らませ、制作する時間を多くとる。</li> <li>・形や色、表し方の面白さなどに気付かせるために、自分たちの作品を楽しく見合う場や機会を設定し、感じたことを言葉で交流させる。(いいねカードの活用)</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・造形あそびや制作を楽しむ児童が多い。</li> <li>・一つの作品にじっくり取り組む力には、個人差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が意欲をもつ題材を扱い、試行錯誤を楽しんだりイメージが膨らんだりするような言葉掛けをする。</li> <li>・制作の途中も含め、互いの作品のよさを感じ取り、交流し合う機会を設ける。</li> <li>・丁寧に作品を仕上げる楽しさを味わわせる。</li> </ul>
体育	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部の運動遊びでは、イメージがもてず、自分の体を上手に操作することができない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の始めに補助運動として様々な動きを経験させる。</li> <li>・視聴覚教材を活用し、児童に動きのイメージをもたせる。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動きのコツを考えたり、表現したりすることができる。</li> <li>・教師から提示された遊び方を工夫しようとする姿勢が見られる。</li> <li>・自分の課題に合った場を、適切に選ぶことが難しい児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動きのコツや遊び方の工夫について、児童が教え合う場をつくる。</li> <li>・声かけ集などをつくり、児童が互いの動きのよさを見つけ合うようにさせる。</li> <li>・児童の実態に合わせた場を用意し、意図をもって選べるよう指導する。</li> <li>・学習カードには、自分や友達の話について工夫したり振り返ったりする欄を設け、互いの経験や気付きを交流させる。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動を進んで楽しもうとする児童が多い。</li> <li>・友達と関わり合うことの楽しさを味わっている。</li> <li>・遊びのルールや安全のきまりを守って運動を行える児童が多い。</li> <li>・準備や片付けを協力して行える児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の興味を高める活動の場を工夫する。</li> <li>・授業のまとめで、準備や片付け、友達との協力などについて振り返らせる。</li> <li>・安全指導を継続して行う。</li> <li>・感染症予防として、ソーシャルディスタンスを保ちながら行う運動あそびを取り入れる。</li> </ul>
学活	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体での話し合いでは自分の意見を堂々と言うことができる児童と、全く意見を言えず聞き手になってしまっている児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体で意見を言えない児童も安心して意見を言えるよう、ペアやグループでの話し合い→全体での話し合いというように段階をつくって話し合い活動の経験を積むようにさせる。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級全体のことを考え行動できる児童が多い。係活動や当番活動では、自分の仕事を責任をもって取り組める児童が増えてきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員が係や当番の仕事もち、クラスみんなが楽しく生活できるように考え、行動する機会を設ける。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のことだけでなく、学級・学年を意識して生活できる力が育ってきている。さらに学級をよくしようという児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな友達と協力する力を育てるために、ソーシャルディスタンスを保ちながら、様々なグループ活動に取り組ませる。</li> </ul>
道徳	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み物教材の登場人物を、自分に置き換えて具体的に考えることができる児童が増えてきたが、難しい児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材を提示する前に、その価値項目についての経験を想起させたり、学習のテーマについての考え方を共通理解させたりする。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の事として考え、考えたことを自分なりに表現しようとする児童が増えてきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・価値理解にとどまることなく、そこから考えたことや自分の経験などを出し合う時間を十分にとり、自分の事として表現できるよう、授業の展開やワークシートを工夫する。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の自分の生活に活かす意識をもって考えることが難しい児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展開後段や終末において、普段の生活と照らし合わせたりしながら、学んだことがこれからの生活や友達との関わりに活かせることを実感させる。</li> </ul>

教科	資質・能力	現在の児童・生徒の実態や授業についての分析	授業改善のための具体的な方策
国語	知識及び技能	助詞を正しく使い分けたり、既習漢字を使わずに文章を書く児童が多い。生活体験不足からくる技能の差も大きい。	日常生活の中で、漢字も使い正しく文章を書かせることを意識させる。学習した時だけでなく、ちょっとした時間でも学習をする場を設定する。(意味調べなど)
	思考力、判断力、表現力等	読解力不足とまではいかないが、読みが浅く、イメージを広げたり深めたりできない。自分の考えをまとめるときに、何を書くかが明確にならず、書くことに苦手意識をもっている児童がいる。	想像力が広がるように資料提示や動作化を取り入れ、読みを深められるようにする。自分の考えの中心を先に考えさせ、その考えのもとになる理由や言葉選びをさせる中で、文章にしていける力を身に付けさせる。
	学びに向かう力、人間性	自分の考えを意欲的に発表する児童がいる反面、自分では発表しないことに慣れている児童もいる。	友達の考えを聞くだけでなく、自分の考えを書き、小グループで伝える場面も設定し、話し合いに慣れさせていく。
社会	知識及び技能	知っていてすごく興味がもてる児童と知らなく聞いているだけの児童の差がある。	知識・技能は確実に習得するために、各授業時に反復練習で身に付くように指導する。また資料活用能力を養うために資料を使った授業を計画する。
	思考力、判断力、表現力等	自分の考えを表現したり、うまくまとめられなかったりする児童が多い。また、地図は読めるがそこから発展することが難しい。	児童に「なぜなのか」と問題意識をもたせて、資料を選択して活用しながら理由を考えさせて解決するよう指導する。
	学びに向かう力、人間性	興味をもって取り組んでおり、自分の身近な生活と絡めることができている。	児童に問題をもたせて、体験学習や見学を通して、より自分の身近な生活と絡められるよう指導する。
算数	知識及び技能	計算などの基礎、基本が定着していない児童がいて、力の差が大きい。技能の高い児童の中でも、間違えずに解くことは苦手である。	レディネステストを通して既習事項を復習したり、補教したりする。時刻と時間など定着しづらい内容は、日常生活に結び付けて意識させる。ふだんから集中し、ミスを減らすように声をかけ、目標をもち解かせる。
	思考力、判断力、表現力等	既習内容を組み合わせ、考えていくことに不慣れで、どう考えてよいか分からなかったり、理由をつけて説明できる児童が少ない。	考え方や着眼点などについても学ばせ、学習の理解を深めさせる。図、絵をつかって自分の考えをかく力を身に付けさせて思考力を高める。
	学びに向かう力、人間性	習熟度別の指導のため、自分の力に沿った学習ができて、目標をもって学習に取り組む児童が多い。	自分の考えとの違いや友達の考えの良さに目を向けさせ、新たな考えに広げたり深めたりする機会をつくる。
理科	知識及び技能	2年生の時から観察を続けているため観察力は身に付いている。学習内容も実生活と結びついており、理解することができている。	より知識を定着させるために、正しい用語や用具の使い方などを指導する。観察結果と理科的用語を結び付け定着させていく。
	思考力、判断力、表現力等	植物や動物の飼育などにおいて、次どのように変化するか様々な予想を立てる発想力はあるが、結果から考察をするなど思考力に苦手を感じる児童がいる。	観察や実験の考察・まとめの段階で教員がキーワードを提示し、それをもとに自分なりの言葉でまとめられるようにする。表現力不足の時もあるので、適切な表現になるようにしていく。
	学びに向かう力、人間性	学習に対する意欲・関心は高い。発言を積極的にする児童と消極的な児童に分かれている。	発言を促すために少人数のグループで話し合う場を設定し、発言の機会を増やししながら、意見や考えを交換できるようにしていく。

音楽	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの授業における知識は理解できているが、実技の技能には個人差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器を有効に使用して、反復練習をなど行い、児童に習得させる。</li> <li>・リコーダーの技能が追い付かない児童は、個別に声かけをして、指導する。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の中で思いをもって表現することはできるが、思いや考えが浅い児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の中で教師がたくさん例を示し、児童の中に表現の幅を広げていく。</li> <li>・友達の意見や考えを紹介して、様々な考え方を共有させていく。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小さなことでつまずいたり、思っていることと違ったことが起こったりすると、意欲をなくしてしまう児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小さな活動の一つ一つほめるようにする。毎回の授業の大きな流れをつくり、途中で意欲をなくしても、また切り替えて児童が臨めるようにする。</li> </ul>
図画工作	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全にのこぎりや金槌を使って木を切ったりつなぐことができる。技能には個人差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の実態に合った題材を提案し、仕上がらない児童は休み時間等を使って個別指導をする。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表したいことを材料などから発想を広げて工夫して表すことができている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入や授業の流れを工夫して楽しく発想を広げる手がかりをつくり、一人一人の発想の良さを認める。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲的に取り組んでいる。思ったように表現できないと意欲が急に低下してしまう児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の合間、個別に励ましの声をかけたり、鑑賞の時間を設け友達同士で認め合えるような雰囲気をつくる。</li> </ul>
体育	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの積み重ねにより、ある程度はできているが、得意な児童や苦手な児童に分かれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感覚作りの運動や体づくりの運動を行い、少しずつ種目に慣れさせていって、楽しく運動できるように指導する。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の体の使い方や運動の仕方を工夫しようとする児童もいるが、運動が目的となり工夫を考えるまで至っていない児童も多くなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前に教師が作戦や、レベルを分けた運動の場を用意し、児童に自分はどこが合っているのか考えさせて選択させる。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育は好きだが、ルールやマナーを守れない児童や体育自体があまり好きでない児童が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>用具の安全な扱い方や、順番やルールを守ることとみんなが心地よく運動できる良さを指導するとともに、運動が苦手な児童も取り組みやすい活動を計画する。(カードなどできっかけを作り、自分から運動に取り組めるようにする。)</li> </ul>
学活	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いの進め方や役割分担については大抵理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経験を重ね、より良い話し合いの進め方を身につけられるようにする。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>理由をつけて意見を言うことや、集団決定に向けてどんな意見を出せばよいかや進め方については、経験不足のため、まだ不慣れな児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まずは自分の考えを伝えたり、友達の考えに対して意思表示することをできるようにしていく。徐々に、話し合いをまとめていくための進め方も少しずつ理解できるよう指導する。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達の考えを受け入れたり、決定したことを実践したりすることはほぼできている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えと友達の考えを比べながら、より良い考えにしていったり、実践後の振り返りを生かし、次の実践につなげていけるようにする。</li> </ul>
総合	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータの操作に慣れてきた。各自の能力の差はあるが、興味を持ちながら取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他教科で身に付けた知識を生かして取り組ませるために、探求的な課題やローマ字入力を多用する課題を与える。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師から与えられた課題を通し、正しい情報を整理・分析している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>正しい情報を調べられるように、課題を精査する。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合の時間では、与えられた課題について興味を持って取り組む児童も多くなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が得意な事や友達が苦手な事、その逆でもお互いに協力し、課題解決に迎えるように主体性を高める。</li> </ul>
	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>道徳的価値項目について低学年からの積み重ねもあり、理解はしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童たちが知っているで終わりにならないよう、価値項目について複合的に考えたり、価値を深めるような発問を行う。</li> </ul>

道徳	思考力、判断力、表現力等	道徳的価値について理解はしているものの実践するまでには至っていない児童も多く、周囲の様子や、感情に流されていしまう児童もいる。	授業での自己の行動や考えを振り返る時間を用意するとともに、普段の生活から実践につながるよう具体的な場面を想定した発問を行い、考える時間を作る。
	学びに向かう力、人間性	道徳の授業では、教材について真剣に考え、挙手、発言する児童も多くいる。	児童の教材や価値項目への関心を高めることができるよう、映像資料などを使い教材提示や板書を工夫し児童の主体性を高める。
外国語	知識及び技能	音としての外国語を耳で覚え教師のあとに続いて発音したり、アルファベットの形をとらえたりすることができる。	歌や、カードを使い身に付いたものをどんどん使う場面を用意することで身に付いたものを確実に使えるようにしていく。
	思考力、判断力、表現力等	繰り返しや、決まった言い方はできる児童が多いが、ワンセンテンス増やしたり、応用させたりしようとすると言葉が出てこない場面がある。	言葉だけでなく、身振り手振りも活用し自分の表現したいことを表現する経験を増やし、自分から表現しようとする機会を増やす。
	学びに向かう力、人間性	授業では、コミュニケーションゲームなどに楽しんで取り組む様子が見られるが、個別に発表する場面で遠慮したり、自信がなくなってしまう児童もいる。	授業初めの挨拶から様々な言葉や言い方に触れ自信をもって発言できるように素地を養う。



教科	資質・能力	現在の児童・生徒の実態や授業についての分析	授業改善のための具体的な方策
国語	知識及び技能	・日頃のスピーチや日記などの文章を順序よく考えて話すことが苦手な児童がいる。言葉の遣い方にも個人差がある。	・話の内容に合わせた様子や、行動、自分の気持ちなどを表す語句を増やして、伝えたいことを話したり日記にまとめたりする。
	思考力、判断力、表現力等	・文章を読んで理解したことをもとに、感想や考えをまとめることが苦手な児童が多い。	・感じたことや考えたことに自信をもたせるために共有し、同じ考えや違いに気が付かせて考えを深めていく。
	学びに向かう力、人間性	・自分の考えを意欲的に発表する児童が多くいる。発表できなくても、友達の意見を聞いて考えをもつ児童もいる。	・発言することが少ない児童の様子を見取ることを意識した授業計画や少人数での話し合いなどの手立てを工夫する。
社会	知識及び技能	・表やグラフの読み取りは多くの児童ができています。学習内容については、授業内では理解するが定着していない児童が見られる。	・表やグラフを読み取る活動は、今後も様々な場面で取り組み、単元の終わりには学習内容のまとめや復習を丁寧に行う。
	思考力、判断力、表現力等	・資料から読み取ったことに対する自分の考えを表現できない児童が多い。	・資料提示の工夫をしていく。 ・全体への発問に加えて、必要な児童には追加で補助発問をして、より考えやすいように支援をする。
	学びに向かう力、人間性	・身近な学習内容であるため、積極的に学習に参加する児童が多く、学習問題に対する関心が高い。	・教科書だけでなく、自分で調べられる学習も取り入れてより興味をもたせられるようにする。 ・体験や見学等を積極的に取り入れ、学習を深められる機会を今後も多くする。
算数	知識及び技能	・基礎基本の定着に時間がかかる児童もいるが、比較的積み重ねていくことで力をつけることができる。	・レディネステストの結果などを受け、習熟度別に問題数を変えたり、授業計画を考えたりして定着を図っている。
	思考力、判断力、表現力等	・自分の考えをノートに書いたり、進んで発表しようとする児童が多いが答えの説明することに難しさを感じる児童も多い。	・自力解決の際に自分の考えがもてない児童にヒントを与えるなどして、全員が考えをもてるようにする。
	学びに向かう力、人間性	・定着に時間はかかるが、意欲も持っている児童が多い。計算や問題を解くことに楽しさを感じている。	・習熟度別学習では、個別で指導できるように定着が難しいコースは人数を少なくするなど、効果を高められる環境を作る。
理科	知識及び技能	・知識(新しく学ぶ用語)などの定着が弱い。 ・実験の際は、道具の扱いなどは自分で考えながらできる児童が多い。	・新しい言葉は繰り返し扱うことで定着を図る。 ・実験は、コロナ対応で場所の確保や器具の数が揃わないため時間がかかるのでその対応を行う。
	思考力、判断力、表現力等	・予想を考えたり、書いたりすることは進んでできる児童が多い。ただ、実験結果のそこから何が言えるか(考察)になると、書けない。	・教師側で発問を工夫し、どこに着眼して考えればよいかをサポートする。 ・キーワードを挙げて考えさせる。
	学びに向かう力、人間性	・実験をやってみたい、生活経験や既習から考えてみようとする意欲はかなりある。	・実験を行う際に、コロナ対応を考えながら目を向けるところをさらに絞り、考えを深められるようにする。

音楽	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までに学習したことを理解している児童が多いが、技能面において大きく個人差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器を有効に使用して、反復練習をなど行い、児童に習得させる。</li> <li>・リコーダーの技能が追い付かない児童は、個別に声かけをして、指導する。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が表現したい音楽を考え、様々な発想につながられているが、深い思考には至っていないことがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が表現した時に、自分の思いを、どのような思いで考えたのか聞いていくことで、表現と思いを一体化させていく。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小さなことでつまずいたり、思っていることと違ったことが起こったりすると、意欲をなくしてしまう児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小さな活動を一つ一つほめるようにする。毎回の授業の大きな流れをつくり、途中で意欲をなくしても、また切り替えて児童が臨めるようにする。</li> </ul>
図画工作	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの材料や用具についての経験を生かして安全につくることができているが、技能面では個人差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しく出てくる用具や道具は初めに安全で適切に扱う方法を知らせる。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・独自の世界を大切にし、発想や構想を広げ、さまざまな思いつきを楽しんでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・題材やその提示の仕方を工夫し、一人ひとりの発想の良さを適切な場面で認め、全体に紹介するなど工夫する。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち着いて、意欲的に造形活動を楽しんでいる。平面表現に苦手意識をもっている児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その子なりに工夫して制作しているところを励ます。</li> <li>・作品を見合う機会を設定し、感想を共有することで認め合える雰囲気をつくる。</li> </ul>
体育	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの積み重ねによりできる運動は増えているが、得意な児童とそうでない児童の差が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小さな運動を取り入れスモールステップで苦手意識をもたずに運動に取り組めるようにする。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が自分でどこまでできるか考えたり、チームで作戦を立てたりして児童同士が関わりあってゲームや運動ができるように考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に教師が作戦や動き方などを提示して、児童同士が関わり合って運動やゲームができるよう手立てを工夫する。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育は好きだが、自分がやりたいたけになってしまい、ルールやマナーを意識できなくなる児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の記録を伸ばすことも大切であるが、そのためにはルールやマナーを意識して安全に運動することが大切であることを知らせる。</li> </ul>
学活	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会で決める時、司会グループがどのように進めていくか台本があると進められる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話す側のルール、聞く側のルールを理解させて学級会を進めていく必要がある。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会のめあてや議題に沿った考えからそれってしまう場合がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見を考えさせる前に、めあてや議題を意識させてから進めていく。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の意見を受け止めて自分の意見を考える力がまだ身に付いていない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の意見に対して自分の考えを伝える力を身に付けさせるために、いろいろな面から意見を考えさせる機会を設定する。</li> </ul>
総合	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・探究的な学習の良さを感じ、理解している児童は多い。技能については個人の差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他教科で身に着けた知識や技能を生かせるように関連付けながら、技能を身に着けさせる。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で課題を立てることはまだ難しい。情報を集めたり、まとめて整理したりすることは出来てきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ活動の中で、友達と見合いながら進めることで課題を見つけたり、分析したりする機会を増やす。</li> </ul>

	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に向かって調べようとする意欲は高く、協働的活動ができる。生活や社会に生かすまでには難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で調べることへの意欲がもてるような探究課題の解決を通して、生活や社会の中へも意識がもてるような力を育てる。</li> </ul>
道徳	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳の内容項目について低学年から積み重ね、理解はしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も内容項目について積み重ねていき、内容項目を理解した上で自分事として考えられるようにする。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分なりの考えをもって良いことや正しいことについて考え、文字や言葉で表現することができる。しかし、実生活の経験と結び付けて考えることのできる児童は少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より自分事として考えられるように発問を工夫し、実生活にも生かせるようにする。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目について進んで考え、自分の考えを文字で書いたり、発表したりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1人の発表からさらに意見を派生させ、より深く意欲的に考えられるようにする。</li> </ul>
外国語	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語で挨拶したり、名前の言い方に慣れたり、楽しみながら伝え合うことができる児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と挨拶をしたり、名前を伝え合ったりして様々な言い方に慣れるようにする。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語を使って自分の好きなことなどを考えて伝えようとするときに、言い方に自信がなくて消極的になる児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お手本の言い方を実演し、自分が伝えたいことをカードなどにまとめてから外国語で伝え合うなどの手立てを工夫する。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語を通して、友達の新しい一面を見つけて興味をもって関わり合うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉は相手のことを知り、自分のことを知ってもらうためにあることを実感させる活動を工夫する。</li> </ul>

東村山市立化成小学校 第5学年

教科	資質・能力	現在の児童・生徒の実態や授業についての分析	授業改善のための具体的な方策
国語	知識及び技能	実態 漢字や語彙、文法等の定着が二極化している。	毎週金曜日の漢字テストの出題方法を柔軟にする。 既習の漢字を日常的に使用するよう、各教科で指導する。
	思考力、判断力、表現力等	考えの形成が弱い。そこに至るまでの各過程の指導事項の指導が行き届いていない。	各過程における指導の充実。「自分で考える一友達とお互いの考えを交流・共有しながら自分の思考の安定を図る」という意識がもてるよう、指導を強調していく。 特に読むことの学習において、「構造と内容の把握」～「精査・解釈」の過程について、文章全体と段落や場面の関係を捉えたり、全体に対する段落や場面どうしの関係を見極めたりできるような指導を工夫する
	学びに向かう力、人間性	「やってみたい」と意欲的に活動する児童とそうでない児童の二極化している。	導入時に、単元全体やその時間の学習の見通しを持たせる。「楽しそうなのでやってみたい」「大切な学習だからやらなければならない」と思えるような導入の工夫をする。さらに、学び方明示して「できそうだ」と思えるような工夫をする。
社会	知識及び技能	・学習した内容が定着していない児童が比較的目立つ。資料の概要をつかむ力は身に付いているが、資料同士を比較・検討することは難しい児童が多い。	確実に学習した内容を理解させるために、見る、聞く、話す等様々な感覚に訴える。そのため、ICT機器の活用や学習形態を工夫する。
	思考力、判断力、表現力等	課題を多面的・多角的にとらえたり、思考したりすることには課題がある。学習したことの表現に関しては、得意な児童と不得意な児童とで二極化がみられる。	課題の捉え方や思考することに関して、意見の交流を大事にする。これにより多面的・多角的なものの見方、表現力の向上を図る。
	学びに向かう力、人間性	・学習内容が、身近な地域（東村山市や東京都）から全国に広がっていくので、興味・関心が低下しがちである。	ICT機器等を活用し、興味を持たせるために課題の提示の仕方を工夫する。
算数	知識及び技能	計算や作図など、基本的な知識・技能の定着が比較的難しい児童が多い。	・個別の課題に応じたプリントを用意したり、学習の時間を確保したりして基礎的な知識・技能の定着を図る。
	思考力、判断力、表現力等	自分の考えを、自信をもって表現できる児童が少ない。自分の考えをもてる児童。	・ヒントカードを用いたり、ヒントの共有を図ったりして一人ひとりの児童が自信をもって考えることができるようにする。
	学びに向かう力、人間性	苦手意識をもっている子が多く、意欲的に取り組むことが難しい場面がみられる。	ICT機器等を活用するなど、興味を持たせるために課題の提示の仕方を工夫する。
理科	知識及び技能	観察は興味をもって行い、ポイントを意識して行うことができる。一方で、これらのことが知識として身に付いているとは言えない。	観察や実験したことを深く印象付けられるように、こまめにふり返りをしたり、授業の様子を教室に掲示したりするなど、児童がその場面を想起できる工夫をする。
	思考力、判断力、表現力等	実験の方法を考えて調べることはできるが、結果から考察する力が乏しい。また、予想を立てたり考察したりしたことを、どのように表現したらよいかわからない児童が多い。	予想⇒実験⇒考察+表現の過程をパターン化し、充実させる。また、考察すること考察するときには表現のしかたを例示したり、考察するためのポイントを明示したりする。
	学びに向かう力、人間性	実験や観察は関心をもって行うことができる。しかし、考察したりノートにまとめたりするときに、途端に意欲が低下してしまう児童が多い。	関心意欲を高められるよう、体験的な授業を多く取り入れていく。また、書くことに苦手意識のある児童には、穴埋めをするだけでよいようなヒントカードを用意し、意欲を持続させる。
音楽	知識及び技能	・今までに学習したことは理解できている部分が多いが、技能面においては大きく差がある。少し難しい課題でも、練習方法を工夫して提示すればしっかり取り組んでいる。	・ICT機器を有効に使用して、反復練習をなど行い、何度も児童に経験させる。 ・リコーダーの技能が追い付かない児童は個別に声かけをして指導する
	思考力、判断力、表現力等	・自分なりの音楽を表現したいとは思っているが、思考の部分が浅く、あまり考えずに表現する児童が多い。	・思ったことをすぐに実行して満足するのではなく、教師側が様々な例を示し、表現の幅広さに気付かせていく。
	学びに向かう力、人間性	・様々なことに意欲的に取り組み、楽しんでいる児童が多い。	・児童が常に意欲的に活動できるように、1時間の授業の流れを提示する。 ・友達のよい所を学んで、自分でもやってみよう声をかける。

図画 工作	知識及び技能	・これまでの材料や用具についての経験を生かしてつくることができているが、技能面には個人差がある。	・段階的な技能指導をする。個別に指導する。危険を伴う道具を扱う時は教員を多く配置したり、場所を工夫したりして安全管理を徹底する。
	思考力、判断力、表現力等	・枠にとらわれない自由な発想ができる。	・その子自身のよさが表現できるように、学習のめあては持ちながらも柔軟に指導する。
	学びに向かう力、人間性	・意欲的に取り組んでいる。しかし思った通りの表現ができないと、急に意欲が下がってしまう児童もいる。	・完成までの見通しが持てるように、導入で活動の流れをわかりやすく視覚化して伝える。児童の意欲を沸かせる魅力的な題材を扱う。個別に励ましの声掛けを行っていく。
家庭	知識及び技能	生活と結びつけて考えることが難しい場面がある。また、切る・縫うなどの面で技能差がみられる。	家族の一員であること、社会の一員であることを想起させるような言葉かけをしながら「知りたい」「できるようになりたい」と思えるような授業を展開する。
	思考力、判断力、表現力等	生活に必要なことや、大切なことを学ぶ中で、自らのこととして考えることが難しい場面がある。	自分の生活を想起させ、意識を「自分の生活」に向けさせた発問を心がける。
	学びに向かう力、人間性	意欲的に取り組むことができる児童とそうでない児童で二極化がみられる。	学習したことを生かしていけるように、具体的に例を挙げるなどして学習を進める。
体育	知識及び技能	・運動技能に差がみられる。 ・運動の仕方については大理解している子が多いように感じる。	これまでの運動経験に差がみられると思われるので、準備運動等において継続的に様々な動きを経験させていく。話し合い等を大事にし、運動の仕方を意識させていく。
	思考力、判断力、表現力等	・各種運動におけるコツやゲームにおける作戦等では一部の児童が活躍していることが多い。	チーム内での話し合いや共通理解を図る機会を設け、活動する際の思考面での学び合いができる環境を作っていく。
	学びに向かう力、人間性	意欲をもって学習に取り組んだり、目的をもって学習できている児童もいる。仲間と協力したり、前向きに学習したりする姿勢に課題がみられる児童が少なくない。	・学習の目的、楽しさを意識させる課題提示、声かけ等を多くする。
外国語	知識及び技能	外国語の表現等に慣れている児童も多いが、技能の獲得には二極化がみられる。	基本的な学習内容にかかわる言葉は繰り返し言わせたり書かせたりして、身に付けさせる。
	思考力、判断力、表現力等	言葉や生活習慣等、文化の違いを意識して学習できている子は多くない。表現力に乏しい	外国の文化を意識させた発問をしていく。スピーチに必要なヒントカード等を準備して、表現しやすい工夫をする。
	学びに向かう力、人間性	比較的外国語に慣れている児童が多い。	友だち同士のコミュニケーションを増やしていきたい。活動しやすい楽しく、簡単なゲームを取り入れるなど工夫していく。
学活	知識及び技能	話し合いを積み上げてきた児童が少ないので、司会の役割や、議題の決め方など、話し合い活動の方法を実践する中で少しずつやり方を理解できてきた。	司会のやり方や意見の言い方をモデルを示しながら活動し、話し合い活動のふり返りのときに、伝え方を工夫した児童や、司会グループの活躍を採り上げ、称賛する。
	思考力、判断力、表現力等	自分の考えをどう伝えたらよいか分からない児童が多く、決まった児童しか発言しないことが多い。	事前に自分の意見を書いておくカード等を用意し、発言する前に確かめられるようにしておく。
	学びに向かう力、人間性	クラスで話し合ったり、係活動を楽しんだりする様子がよく見られる。	自分たちで考えた活動をクラス単位で実行し、楽しめたという経験を積み重ねていく。
総合	知識及び技能	習得すべき技能については個人差があり、二極化が見られる。	学習内容を構造化し、生きて働く概念へと高めるため、作品の交流等を通して何度も活用され発揮されていくことで身に付けさせていく。
	思考力、判断力、表現力等	多様な見方をしたり、物事を関連付けて考えたりすることは苦手な児童が多い。	多様な情報にある特徴の発見、事実や関係を把握、理解ができるように振り返りをさせる。
	学びに向かう力、人間性	情報に関しては、進んで学ぼうという意欲が見られる児童が多い。	意欲的に活動しようという姿勢を保ちつつ、他者とかわっていくことのよさや社会に貢献できることのすばらしさなどに気付けるよう指導していきたい。

道徳	知識及び技能	道徳的諸価値については理解できている児童が多い。	授業の展開前段で道徳的価値について、さらに深くとらえることができるよう意見の意図を確かめるなど丁寧に扱う。
	思考力、判断力、表現力等	道徳的価値の理解はできるが、物事を広い視野から多角的・多面的に考えることは難しい児童が多い。	展開前段で十分に道徳的価値に触れさせる際、物事を多角的・多面的に捉えさせる場面を設定する。
	学びに向かう力、人間性	よりよく生きるための基盤となる道徳的価値については理解できている。	主として展開後段で、友達や社会、世界との関わりを意識させるとともに、自己の生き方に繋げて考えさせる。

教科	資質・能力	現在の児童・生徒の実態や授業についての分析	授業改善のための具体的な方策【主体的・対話的で深い学び】
国語	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字や語彙、情報の扱い方等について、習得に個人差が目立つ。</li> <li>文章を正確に読み取る力の伸びに個人差が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各自が自分の力や特性に合わせて効果的な練習ができるように指導していく。</li> <li>指導者も新しい語彙や表現を意図的に使用し、「日常化」を促す。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題に対して自分の考えをもつことが難しい児童が見られる。</li> <li>自分の考えを文章化して表現することが苦手の児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発言だけでなく、様々な手法で表現する方法を授業の中で取り入れていく。</li> <li>友達の書いた考えを共有し合うことで、その内容だけでなく表現の仕方も学び合えるようにする。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>意欲的に学習に取り組み、楽しく学ぶ姿が見られる。「書くこと」に対する苦手意識をもっている児童が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体の見通しがもてるような導入の工夫をし、「やってみよう」「これはできそうだ」という思いを喚起させる。</li> <li>「書くこと」については、日常的に文章を書く活動を取り入れ、抵抗感を提言していく。</li> </ul>
社会	知識及び技能	<p>現在の政治の様子や、歴史の流れなど、社会的事象を捉えている児童が多い。調べることがらについて自分で資料を見つけることに課題がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料から分かることを自ら読み取れる機会を増やす。</li> <li>児童が実感をもって理解できるよう、視覚的な写真資料や映像資料を積極的に活用する。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>政治の様子や歴史の流れを捉え、複合的な視点から考え、友達と交流できる児童が多い。</li> <li>考えたことをまとめ、表現することが課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な方法で表現することができるようにする。</li> <li>既習の内容や年表など、歴史の経過を意識できる内容を重点的に考えさせるようにする。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体的に高い意欲で学習に向かっている。</li> <li>児童にとって身近に感じにくい内容が多く、意欲をもてない児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「なぜ」「どのように」など、課題意識をもたせるために、児童が歴史や政治について、自分事として捉えられるような資料を効果的に提示する。</li> <li>予想をもとに調べ考える学習過程を意識する。</li> </ul>
算数	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎・基本は概ね定着している。</li> <li>課題のある児童には個別指導が必要。</li> <li>自ら数直線を使って、考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>レディネステストできていない既習に関しては、単元に入るまでに復習しておく。</li> <li>数直線指導を、どの学年、コースでも指導できるように、校内で指導方法を揃えていく。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習を活用して、解決することが苦手な面が見られる。</li> <li>答えを出すことはできるが、考えを論理的に表現することに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日中の考えをもつ時間は時間の確保をする。</li> <li>答えを出すのではなく、そのプロセスを重視する学習を進めていく。</li> <li>必要に応じて既習内容を丁寧に再確認する。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>意欲的に、粘り強く学習に取り組める児童が多い。</li> <li>間違いを恐れ、考えを表現することを避ける児童も見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>習熟度別指導の特性を生かし、個別の理解度や能力に応じた課題やヒントを提示していく。</li> <li>多様な思考を価値づけ、互いに認め合う学習環境を整えていく。</li> </ul>
理科	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題解決の手段として、適切に実験・観察を行うことができる児童が多い。</li> <li>知識の定着度に差が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>知識や技能として身に付けるために「教えること」と「考えさせること」を整理して指導する。</li> <li>実験方法を工夫することで、全員が同じ経験をできるようにする。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>事象を科学的に捉え、考えることに慣れてきている。</li> <li>結果に基づく考察し、表現することが苦手の児童が少なくない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題に対する予想を立てることで見通しをもたせ、より論理的で深い思考を促す。</li> <li>自分の言葉でまとめたり、個人の考えを交流したりする機会を増やす。</li> </ul>
	学びに向かう力、人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題意識をもち、意欲的に学習に取り組む児童が多い。また、科学に対する興味の高い児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書に頼らず、自分たちの手で学習を進めていくことで、学ぶ楽しさを味わわせる。</li> <li>導入をより魅力あるものにしたリ、結論から次の課題につなげたりして、児童の思考に沿った学びの連続性を意識した学習過程を展開する。</li> </ul>
音楽	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>今までに学習したことは理解できている部分が多いが、技能面においては大きく差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT機器を有効に使用して、反復練習などを行い、何度も児童に経験させる。</li> <li>リコーダーの技能が追い付かない児童は個別に声かけをして、指導する。</li> </ul>
	思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分なりの思いを表現したいとは思っている児童が多いが、なかなか自分の思いや意図の実現に結び付かない児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師側が様々な表現例を示し、児童に多くの表現の幅を示す。</li> <li>児童が表現できたときに、教師側が声かけをして認める。</li> </ul>

	学びに向かう力、人間性	・意欲的に取り組む部分はあるが、歌唱に関しては自信がなかったり周囲を気にしたりして、声が小さくなりがちである。	・歌唱の時は小さな声でも教師が前向きな声かけをして、声を出すことに少しずつ自信をもたせていく。
図画工作	知識及び技能	・これまでの材料や用具についての経験を生かして安全につくることができているが、技能面では個人差がある。	・用具や道具の安全で適切な使い方を適宜確認しながら指導する。
	思考力、判断力、表現力等	・独自の発想に自信をもって取りくんでいる。 ・表したいことや材料などの特徴を基に、じっくりと構成を考える力は弱い。	・それぞれの発想の良さを適切な場面で評価し、自信をもたせる。 ・発想や構造が深められるように資料を準備したり、適切な場面で具体的なアドバイスをしたりする。
	学びに向かう力、人間性	・めあてをもって取り組み、意欲的に造形活動を楽しんでいる。準備、片付けなども友達と協力して行うことができている。	・より学びが深められるように、題材を吟味し、準備・声かけ等を工夫する。友達の作品を鑑賞する時間を設け、よさや美しさを感じ取れるようにする。
家庭	知識及び技能	生活体験の差が大きく、知っていることや技能の習得において二極化がみられる。	たくさん縫ったり、調理したりと活動の機会を多くしたり、振り返りを充実させたりして知識の習得や技能の向上を図る。
	思考力、判断力、表現力等	生活と結びつけて考えることが難しい児童が多い。学習したことを実際に生かそうとする児童が少ない。	自分の生活や家庭での活動を振り返る際、様々な意見を聞いたり伝えたりさせて学習の深化を図る。また、自己評価力を向上させることでより正しい判断力、思考力を育むことにつなげる。
	学びに向かう力、人間性	裁縫など既習事項を生かして学習に取り組もうとするなど、作業自体には意欲的に活動する子は多いが、生活と結びつけて考える子は少ない。	課題の与え方を工夫し、相手を意識させた活動をさせることで、目的をもって進んで学習に取り組むことにつなげる。
体育	知識及び技能	・学習の行い方が身に付いている児童が多い。 ・技能の習得には、経験による差が顕著になりつつある。	・補助運動を充実させるなど基礎的な動きを繰り返し行い、実感を伴う「できる」を達成させる。 ・場を工夫したり意図的・計画的な声掛けをしたりして、個の習得状況に応じた指導を行う。
	思考力、判断力、表現力等	・練習を繰り返しながら、運動の行い方についての思考を深めている。 ・友達と教え合ったり、友達の動きから学んだりしている児童が多い。	・友達とコツや技能のポイントなどを伝え合う機会を、メリハリをつけて設定する。 ・目標や能力に適した練習方法や場を判断できるように、指導者が取組み・習得の状況を把握して助言していく。
	学びに向かう力、人間性	・元から好きな運動、できる運動にはより意欲的に取り組む。 ・準備や片付けにも、互いに協力している。 ・苦手な運動は及び腰になる児童も見られる。	・個別の目標を立てて取り組むようにする。 ・練習の計画や方法などを児童が考え、選択できるように促していく。 ・スモールステップで達成感を得られるようにする。
学活	知識及び技能	・学級会などの話し合いの流れを理解してきた。中には、経験がなく流れを理解していない児童もいる。	・何度も繰り返し、学級会を行うことで話し合いの基本の流れを理解させる。
	思考力、判断力、表現力等	・話し合いをする際、自分の考えに説得力のある理由を添えて、発言する児童が増えてきた。	・説得力のある発言を全体の前で取り上げながら、話し合いのふり返しを行う。
	学びに向かう力、人間性	・クラスを盛り上げようと、友達と協力して係活動を行っている。 ・「〇〇会」等を行うまでの話し合いを意欲的にしようとする姿が見られる。	・周りを楽しませるための工夫を考えさせるようにする。 ・学級会で、なかなか自分の意見を言えずに終わってしまう児童がいるため、「全員発言」を意識させる。そのために、話し合いの柱で、自分の考えをもたせる。
総合	知識及び技能	様々な学習活動を通して、他者との関わり方やを学んでいる。インターネットを活用した調べ方(検索の仕方や資料活用の方法)に課題が見られる。	インターネットを活用した効率的な資料検索の方法を繰り返し習得できるようにする。本校の特色である白十字ホームとの交流、全生園学習を今後も継続・発展していく。
	思考力、判断力、表現力等	経験したことをもとに新たな活動を見出したり、友達と話し合ったりしてより考えを深めたりすることができている。表現力はさらに伸ばしていく必要がある。	様々な方法での自己表現を経験させ、自分の考えを何らかの形でアピールできる力をつける。既定路線の学習だけでなく、より児童の主体性を尊重した学習内容を検討していく。
	学びに向かう力、人間性	「自分の未来を考える」という課題意識をもたせることで、題材を主体的に捉えて学ぶことができている。自ら課題を見つけること、解決方法を見出せるようになることが課題である。	引き続き、児童の思考に沿った学習過程を意識して指導計画を立てていく。児童にとってより主体性が引き出せる学習活動が展開できないか検討する。
道徳	知識及び技能	価値項目に対して、自分の経験と照らし合わせたりしながら、理解を深めることができている。	教材を提示する前に、その価値項目についての経験を振り返らせたり、考え方を共通理解させたりする。
	思考力、判断力、表現力等	自分の考えや経験を発表したり、友達と考えを伝え合ったりすることができる児童が多い。	価値理解にとどまることなく、そこから考えたことや自分の経験などを話し合う時間を十分にとる。ペアやグループでの話し合いを活用し、より深い議論につなげていく。



学びに向かう力、人間性

高い意欲をもって学習に臨んでおり、「話し合いたい」「友達の考えを知りたい」という思いをもてる児童が多い。

展開後段や終末において、普段の生活と照らし合わせたりしながら、道徳での学びがこれからの人生や友達との関わりにも生かされることを実感させる。